

マルチメディアは、受動的に見ること主体のクールメディアから、使用者自身がメディアを能動的に活用するホットメディアの時代へと大きく進展している。そのため、真にユーザーから望まれる「ホット メディア ソリューション」を実現するマルチメディア機器とその応用製品の拡充を図っている。

液晶の特徴を生かして、平面、薄型、高画質を実現するディスプレイとして、スーパーTFTを採用した広視野角の18型液晶モニタ、A4サイズの小型、軽量、高輝度のモバイル液晶プロジェクタ、大画面高精細マルチディスプレイを製品化した。

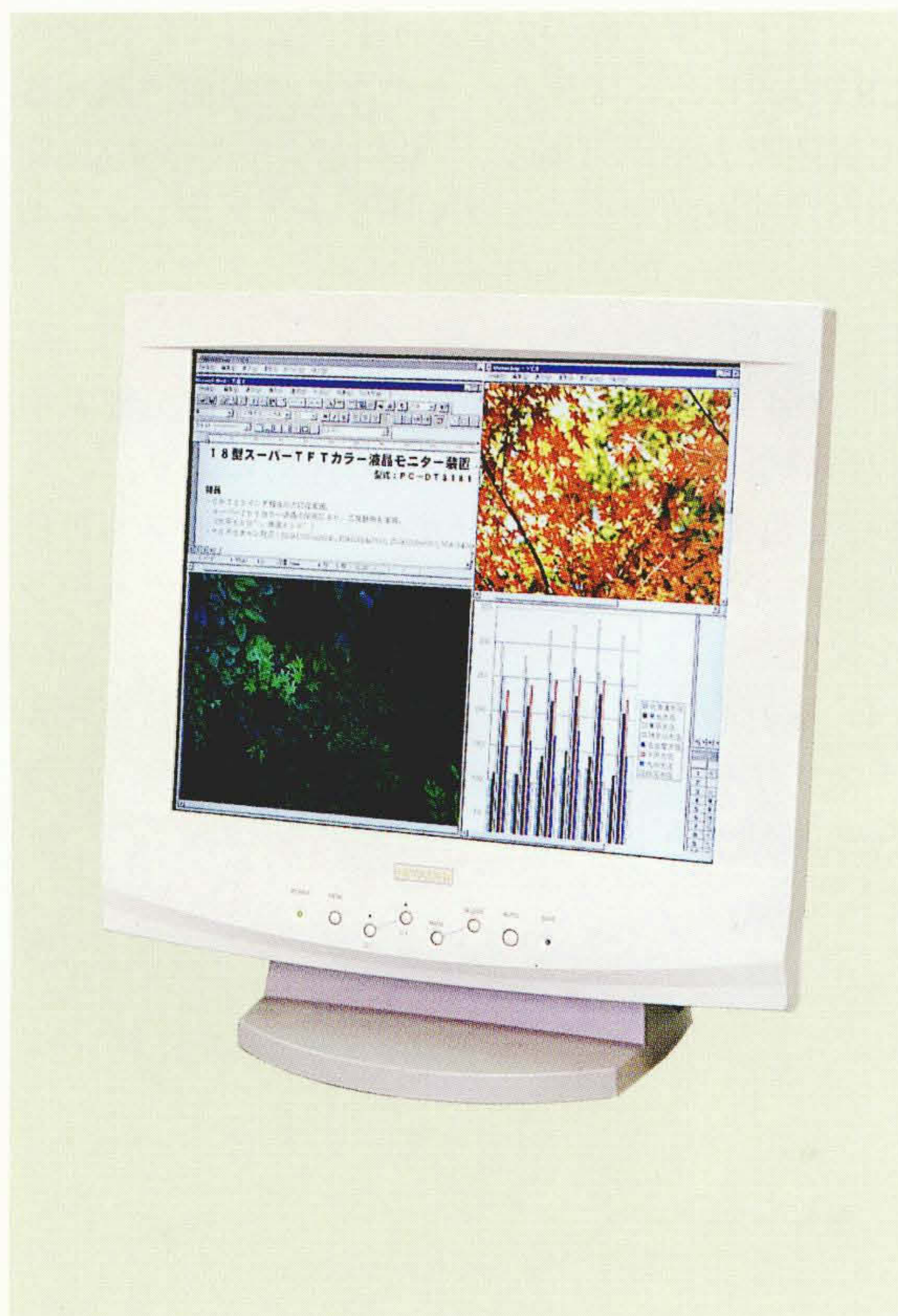
次世代のパッケージメディアとして最も注目を浴びているDVD関連では、DVDフォーラムでの標準化に貢献すると同時に、世界初の書き換え型DVD-RAMの製品化に成功した。さらにその応用製品第一弾として、特許情報やマルチメディアコンテンツなどを低コストで集録可能な大容量のライブラリ装置を発売開始した。

マルチメディア応用製品としては、通信衛星から受験生向け教育講座などの双方向サービスを受信できるHK Channel受信装置、コンテンツ関連としては、株式会社日立デジタル平凡社が開発した、DVD-ROMを用いた「世界大百科事典」、テレビ番組で好評の「世界ふしぎ発見!」をCD-ROM化した「トロイア」などを発売し、この分野でも特徴あるコンテンツ事業を推進している。

マルチメディア関連機器—機器—

多彩な情報サービスを利用するユーザーのニーズにこたえて、液晶ディスプレイ、液晶プロジェクタ、マルチスキャンディスプレイ、DVD-ROMドライブ、DVD-RAMドライブ、カラーレーザプリンタ、カラーハンドヘルドPCなどを製品化している。

18型スーパーTFT液晶モニタ装置



18型スーパーTFT液晶モニタ装置

大画面・高解像度の18型スーパーTFT (Thin Film Transistor) カラー液晶モニタ装置“PC-DT3182”を開発した。

このモニタ装置では、18型スーパーTFT液晶モジュールを採用し、1,280×1,024ドットの解像度で、上下・左右160度の広視野角と1,677万色のフルカラー表示を実現した。また、マルチスキャン対応により、1,280×1,024ドットに満たない解像度の入力も自動認識し、等倍または拡大(フル画面)で表示することができる。

接続インターフェースでは、CRT互換アナログRGB入力を2系統用意し、モニタの前面スイッチによってワンタッチで切換を可能とした。また、画面の調整でも、自動調整ボタンによってワンタッチ調整を可能とし、これまでの液晶モニタ(13.3型や14.1型)に比べて、使い勝手の向上を図った。周辺機器接続用インターフェースとして注目を集めている、USB(Universal Serial Bus)のハブ機能(アップストリーム×1、ダウンストリーム×4)もサポートしている。

(発売時期：1999年1月)

大画面プレゼンテーション用モバイル液晶プロジェクタ

出張先や顧客先に手軽に持ち込んで大画面プレゼンテーションができるモバイル液晶プロジェクタ“CP-S830J”を発売した。

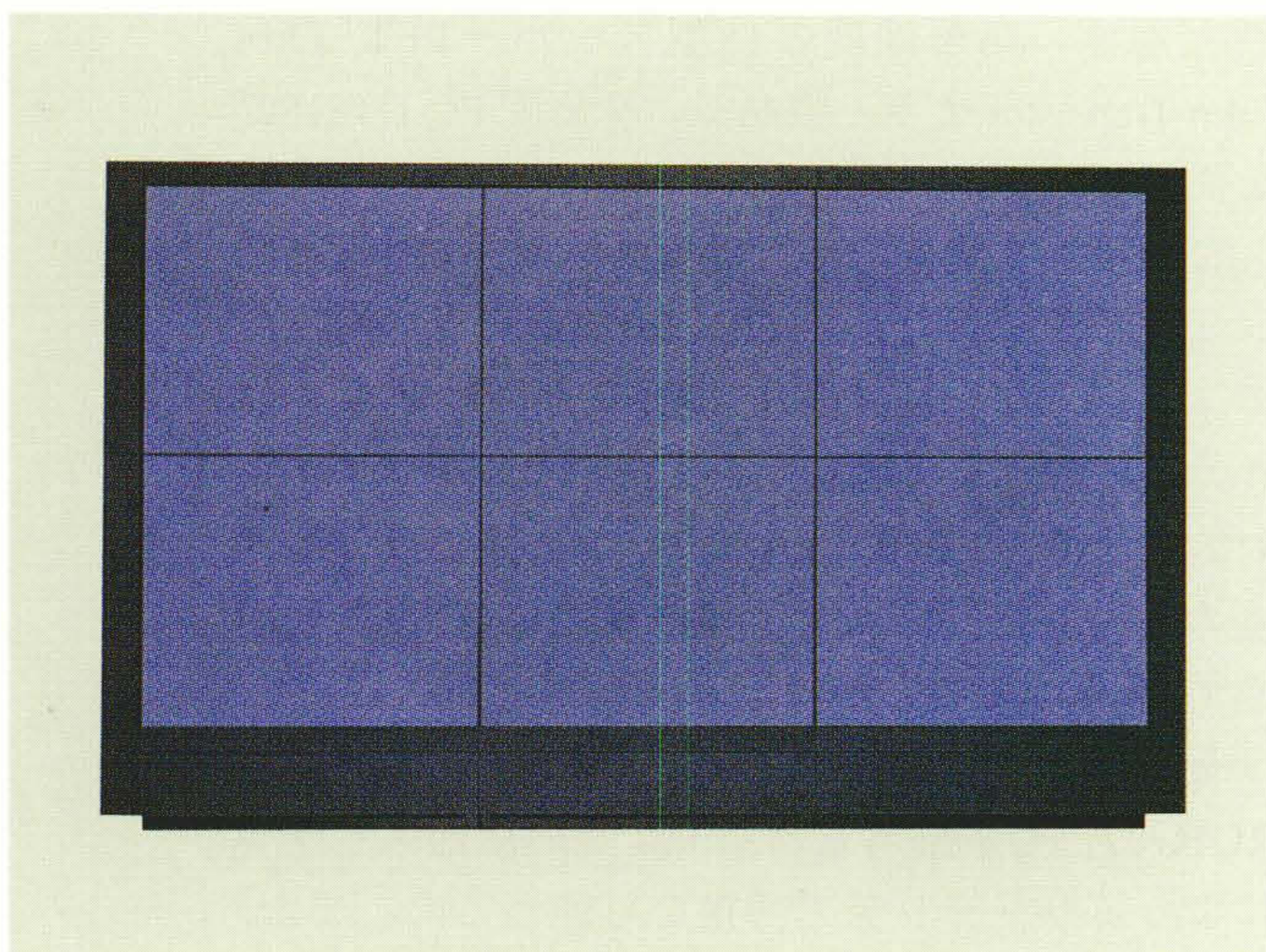
A4ファイルサイズで、重さ約5 kgと手軽に持ち運べる小型・軽量化を実現し、500 lmと明るく、VGAからXGAと幅広くパソコン信号に対応できる。また、明るさを落とさずに小型化と低消費電力を実現し、ユーザーでも交換が可能なUHB (Ultra High Brightness) ランプを採用した効率的な光学系としている。これからのモバイルプレゼンテーションを実現するアイテムとして、学校や企業での多様なニーズにこたえることができる。

(発売時期：1998年7月)



モバイル液晶プロジェクタ“CP-S830J”

■ 超高精細液晶マルチスクリーンディスプレイ



60型6面超高精細液晶マルチスクリーンディスプレイ

監視・制御分野の大型表示装置として、従来のCRT方式に比べて焼きつきがなく、画面の隅々まで鮮明な表示が可能な、液晶投写方式の60型6面超高精細液晶マルチスクリーンディスプレイを開発し、発売を開始した。

〔主な特徴〕

- (1) 1面当たり1,280×1,024ドットの超高精細表示
- (2) 13型単板液晶パネル方式の採用により、焼きつき、色ずれがなく、ユーザーメンテナンスも可能
- (3) 外光に強いブラック ストライプ スクリーンを採用
- (4) 横2面から、縦2×横n面の規模に応じたマルチスクリーンシステム構成が可能

(発売時期：1998年3月)

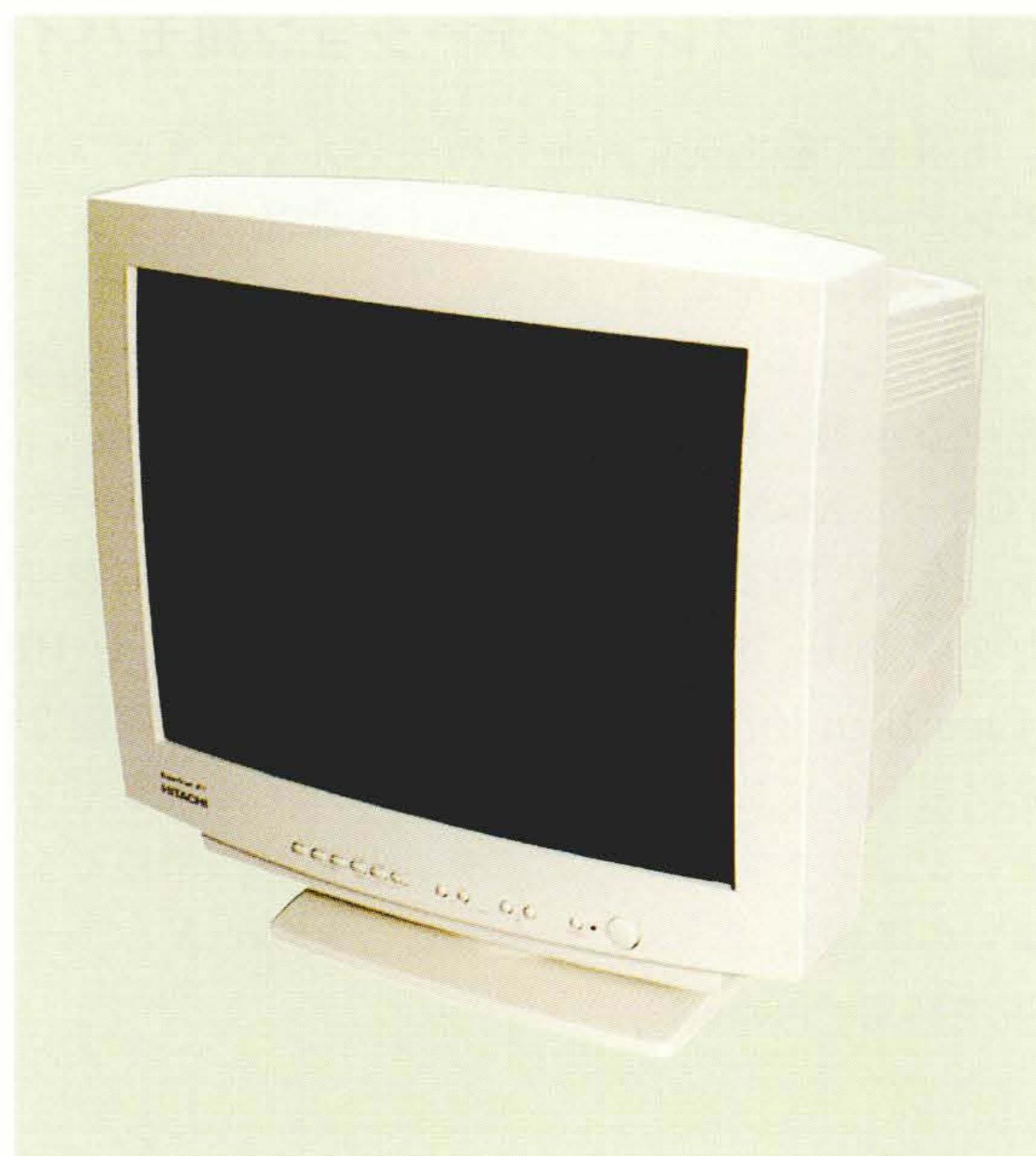
■ 業界最高水準の超高精細21型マルチスキャンディスプレイ

パソコンの高性能化、高解像度需要に対応した業界最高水準の超高精細21型マルチスキャンディスプレイ“CM814”を製品化した。水平周波数31～125 kHzのマルチスキャン対応で、1,800×1,440ドットの高解像度を実現した、省スペース、省資源のディスプレイである。CAD、CG、イメージングからOA用まで幅広い用途に適している。

〔主な特徴〕

- (1) 21型としては業界最小クラスの470 mmの奥行き
- (2) 業界トップクラスの130 Wの低消費電力

〔発売時期：1998年10月(輸出向け)〕



超高精細21型マルチスキャンディスプレイ“CM814”

■ ハイフォーカス、ハイコントラストの薄型19型マルチスキャンディスプレイ

新開発の100度偏向短全長スーパーハイコントラスト管を採用した薄型19型マルチスキャンディスプレイ“CM761”を製品化した。EWS、CAD、CGからOA用まで幅広い用途に適したディスプレイである。

〔主な特徴〕

- (1) 100度偏向短全長スーパーハイコントラスト管〔NEAT-MDF(New Elliptical Aperture Technology with Multi-step Dynamic Focus)電子銃〕の採用によるハイフォーカス、ハイコントラストの実現(水平ピッチ:0.22 mm)
- (2) ワイドレンジマルチスキャン対応の19型高級機で、水平周波数31~96 kHz、高解像度フリッカフリー1,600×1,280ドット(70 Hz)
- (3) コンパクト性、省スペースを追求し、19型の大画面としては業界最小クラスの395 mmの奥行き
- (4) 5ボタン新OSD(調整機能画面表示)、オートストア機能による操作性の向上

〔発売予定時期:1999年2月(輸出向け)〕



薄型19型マルチスキャンディスプレイ“CM761”

■ マルチメディア時代のニーズにこたえる書き換え可能な大容量DVD-RAMドライブ

DVD-RAM(Digital Versatile Disc Random Access Memory)ドライブを世界に先駆けて発売した。

DVD-RAMドライブは、大容量DVD-RAMディスクの記録・再生やCD(Compact Disc)とDVD-ROM(Read-Only Memory)の再生ができるので、映像、音楽、通信が中心となるマルチメディア時代に適したドライブである。

〔主な特徴〕

- (1) 大容量5.2 GバイトのDVD-RAMディスクの記録・再生を実現〔CD-R(Recordable)の約8倍の容量〕
- (2) CD、CD-ROM、CD-R、DVD-ROMなどの各種メディアの再生が可能で、これまでのソフトウェア資産の継承ができる。
- (3) 高速でのデータ転送レートを実現
DVD-RAM転送レート:1.38 Mバイト/s
DVD-ROM転送レート:2.76 Mバイト/s(2倍速)
- (4) SCSI-2インタフェースに対応
- (5) 水平・縦置きに対応したトレイ構造方式
- (6) キャッシュ機能による高速書込み・読み出し

- (7) 外付け据置きタイプとパソコン内蔵タイプの2機種

(発売時期:1998年4月)



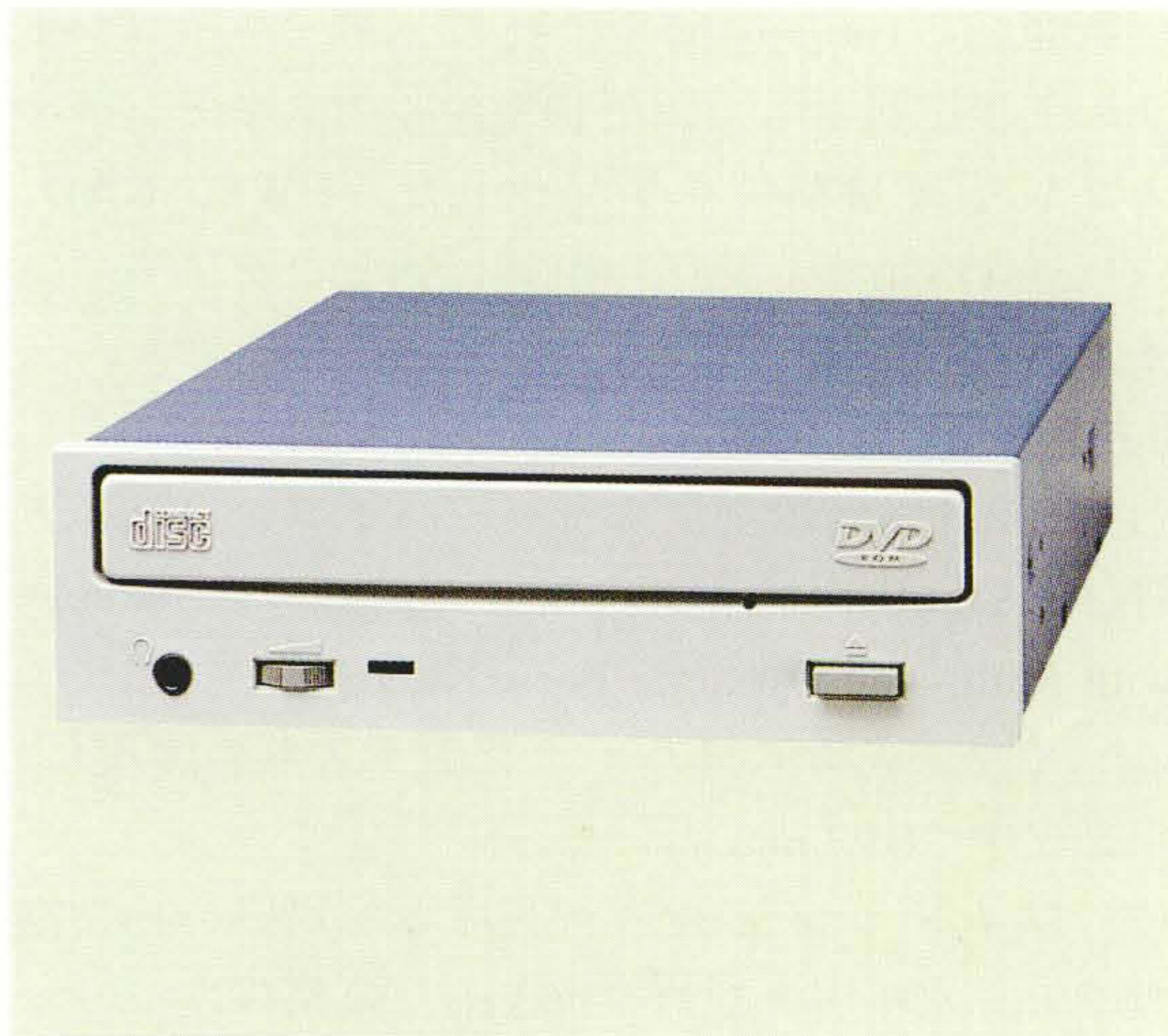
外付け型DVD-RAMドライブ“GF-1055”(右)と付属品

4倍速DVD-ROMドライブ

パソコン内蔵用4倍速DVD-ROMドライブを開発した。業界初の2倍速CD-ROMドライブ“GD-2000”の後継機として、パソコンへの搭載も、高級機だけでなく中級機以下まで広がることが期待できる。

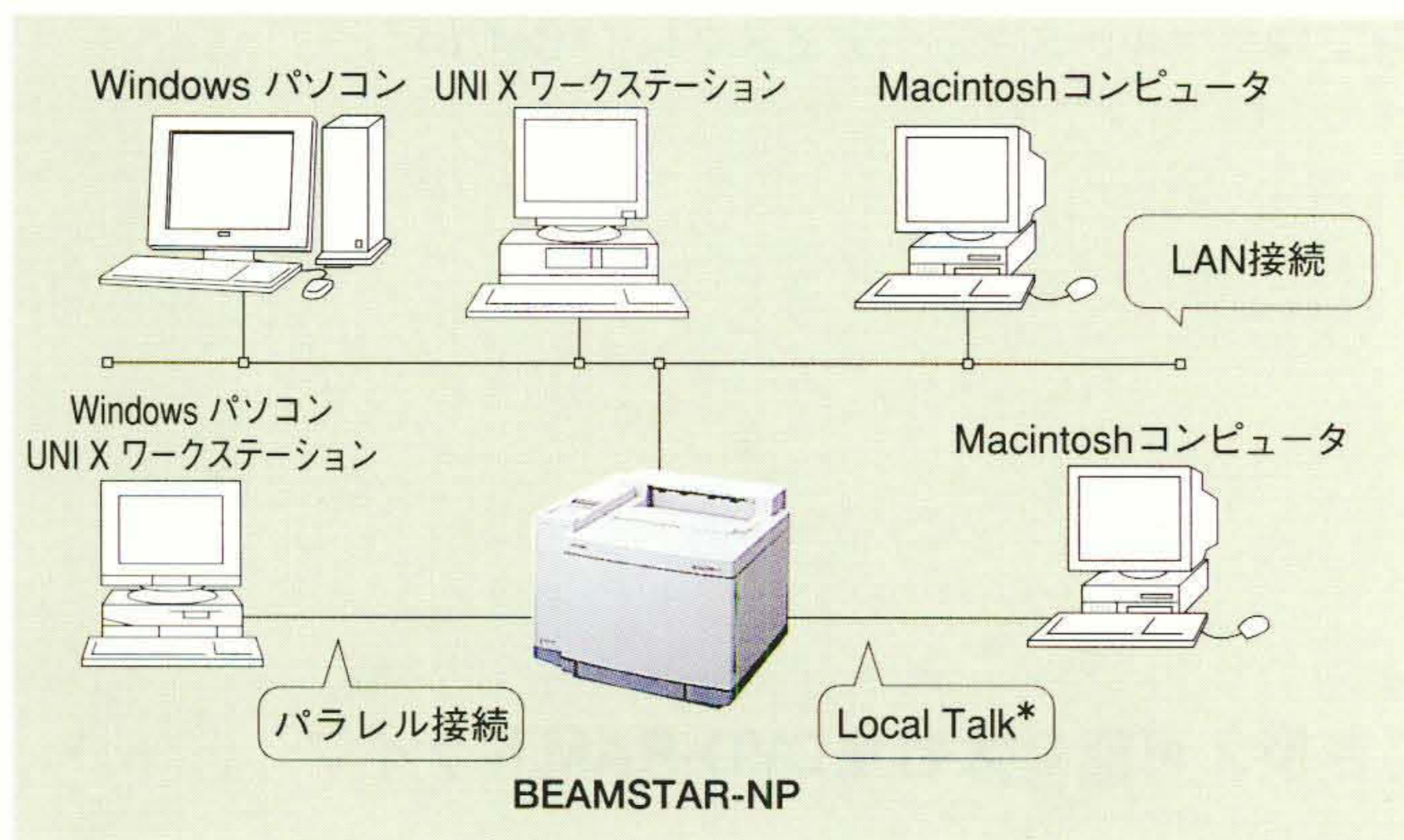
〔主な特徴〕

- (1) 家庭用DVDプレーヤが1倍速再生であるのに対して、4倍速再生と高速なデータの転送が可能（CD-ROMの再生速度の32倍速に相当）
- (2) 波長の異なる二つのレーザを搭載し、このドライブ1台で、従来のCD-ROM、CD-R/RW (Recordable, Rewritable) ディスクも読むことが可能（発売時期：1998年8月）



4倍速DVD-ROMドライブ

高画質・高機能のカラーレーザプリンタ



カラーレーザプリンタ“BEAMSTAR-NP”の接続例

パソコンの普及に伴って、報告書やプレゼンテーション資料などオフィスで作成されるドキュメントのカラー化が急速に進んでおり、カラープリンタが普及してきている。こうした中で、Windows、Macintosh、UNIXのマルチプラットフォーム環境から利用できる、最新機種のカラーレーザプリンタ“BEAMSTAR-NP”を発売した。

このプリンタは業界標準のPostScript*言語仕様に対応し、高画質と高機能を実現している。また、充実したネットワーク支援機能により、オフィスで簡単に利用できる環境を提供できる。

（発売時期：1998年6月）

注：*は他社登録商標（146ページ参照）

カラーハンドヘルドPC PERSONA“HPW-230 JC”

インターネット簡単設定機能と、メインメモリに32Mバイトの大容量RAMを搭載したカラーハンドヘルドPC PERSONA（ペルソナ）の新鋭機“HPW-230 JC”を発売した。

Windows CE 2.0日本語版を搭載しているため、Windowsパソコンとの高い親和性を持っており、予定表などのPIM (Personal Information Management) データや文書、表計算データなどの同期、交換ができる。好評の16.5mmキーピッチの本格キーボードや、8.1型の見やすい大型カラー液晶ディスプレイを採用している。デジタル携帯電話やPHSとケーブルだけで接続できるPDC/PHSインタフェースを搭載した、すぐに使えるモバイルツールである。

（発売時期：1998年11月）



カラーハンドヘルドPC PERSONA “HPW-230 JC”

マルチメディア関連機器—アプリケーション—

ディジタル衛星を用いた情報配信システム、マルチメディアデータを保管するDVDライブラリシステム、MPEG応用の記録監視システムを開発し、CD-ROM、DVD-ROMのマルチメディアコンテンツも製品化している。

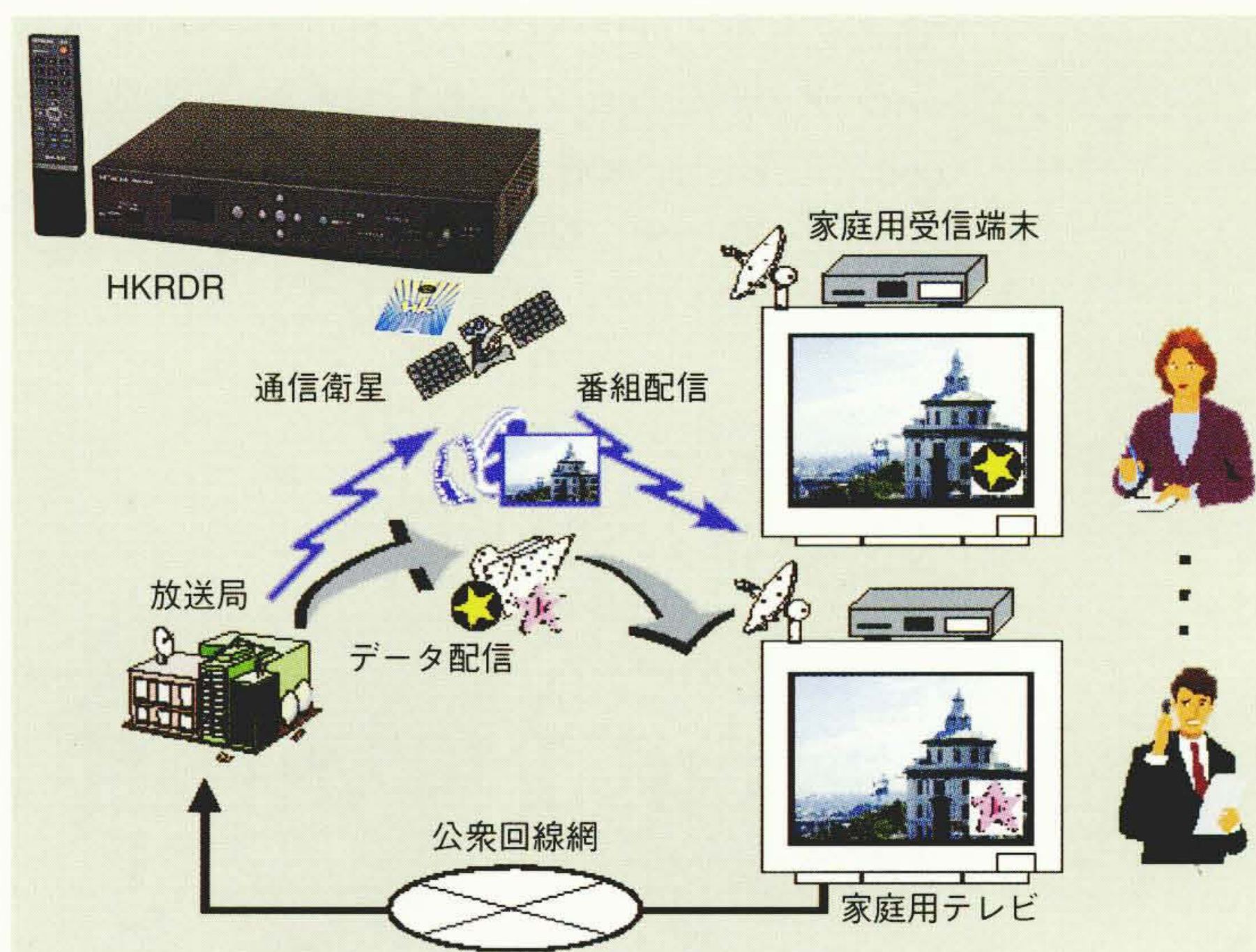
JavaによるCSディジタル情報配信システム

ディジタル衛星配信設備を利用した家庭向け新情報サービスを実現するため、Javaのオペレーティングシステムを搭載したセットトップボックスHKRDR(HK Receiver Decoder Recorder)を開発し、CS(通信衛星)ディジタル情報配信サービス“HK Channel”を開始した。

このサービスでは、映像情報とデータ情報を多重送信して連携させるインタラクティブな映像ナビゲーションや、視聴者個人ごとの特性に基づいたマスカスタマイゼーションが可能になる。

家庭向け衛星用マルチメディア端末として世界で初めてJavaを採用し、Javaを用いてアプレットベースのアニメーションなどを利用した複雑な配信コンテンツも記述できるようになる。

(発売時期：1998年5月)



CSディジタル情報配信システムの構成

低価格で大容量保管庫を実現するDVDライブラリシステム



DVDライブラリシステム

急増するディジタルデータの保管庫として、次世代大容量光ディスク“DVD-RAM(Digital Versatile Disc Random Access Memory)”を用いた、低価格な大容量ストレージシステムを開発した。サーバに接続するストレージとして、また、LANに接続するネットワークストレージとして、260 Gバイト、390 Gバイトの大容量データを長期に保存することができる。

文書、画像、映像、図面などのディジタルコンテンツのアーカイバファイルや、コンピュータシステムのバックアップファイルとして活用することができる。

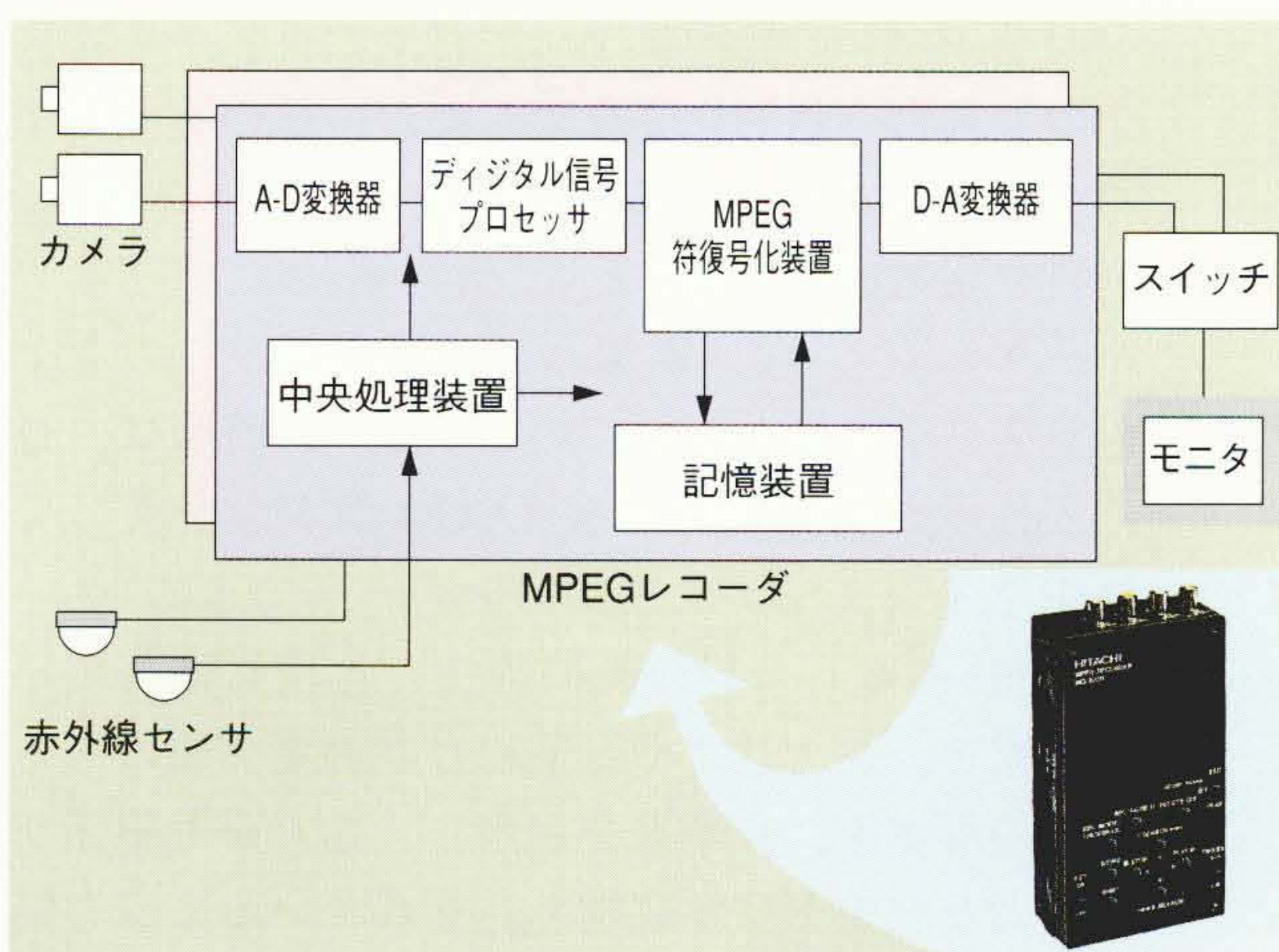
(発売時期：1998年10月)

MPEG応用プリアラーム記録監視システム

MPEG(Moving Picture Experts Group)レコーダを応用した新しいディジタル監視システムを開発した。

従来のアナログテープなどに代えて、半導体メモリなどランダムアクセス性の高いメディアを使用している。MPEG-1方式で圧縮したディジタル映像データを常時上書き記録し、赤外線センサ検知によるアラーム信号が入力されるとアラーム以前に記録したデータを保存する。このシステムは、従来困難であったアラーム直前の状況の映像記録を可能とし、防災管理やFA市場、金融機関など広範な分野での監視システムとして利用できる。

(発売時期：1998年5月)



赤外線センサ検知により、アラーム以前の映像が残せるプリアラーム記録監視システムの構成

CD-ROM+DVD-ROM「世界大百科事典」(第2版)プロフェッショナル版

株式会社平凡社の「世界大百科事典」全35巻のコンテンツ、すなわち、わが国の各分野の専門家約7,000名に上る執筆陣による7,000万字に及ぶ本文テキスト、構造物・動植物のイラストレーションなど精密なモノクロ図版約1万点、カラー図版

1,400点、数式・化学式約6,000点、世界地図、日本地図、百科年鑑、百科便覧を1枚のCD-ROMに収録し、株式会社日立デジタル平凡社から発売した。

本文中でのリンクはもちろんのこと、本文と地図・便覧の間で双方向の検索ができる。調べ方により、索引・全文・項目グループ名検索ができる「検索ディスク」と、ビジュアル探索、例示探索、地球探索ができる「探索ディスク」の2枚で構成している。また、インターネットに容易にアクセスできるウェブラink機能を搭載し、さらに、マルチメディア百科事典「マイペディア98」のCD-ROMも同梱(こん)している。またDVD-ROMでは、「世界大百科事典」と「マイペディア98」を1枚に統合し、相互のリンクによる探索を可能とした。

同時に、「検索ディスク」と「マイペディア98」CD-ROMから成る、基本的な検索が可能なCD-ROM「世界大百科事典」第2版ベーシック版も発売した。

〔発売時期(Windows98/95/NT4.0対応版)：1998年10月〕
※) ウェブラink機能の使用に際しては、(1) モデムまたはターミナルアダプタと、(2) インターネットプロバイダとの契約が必要



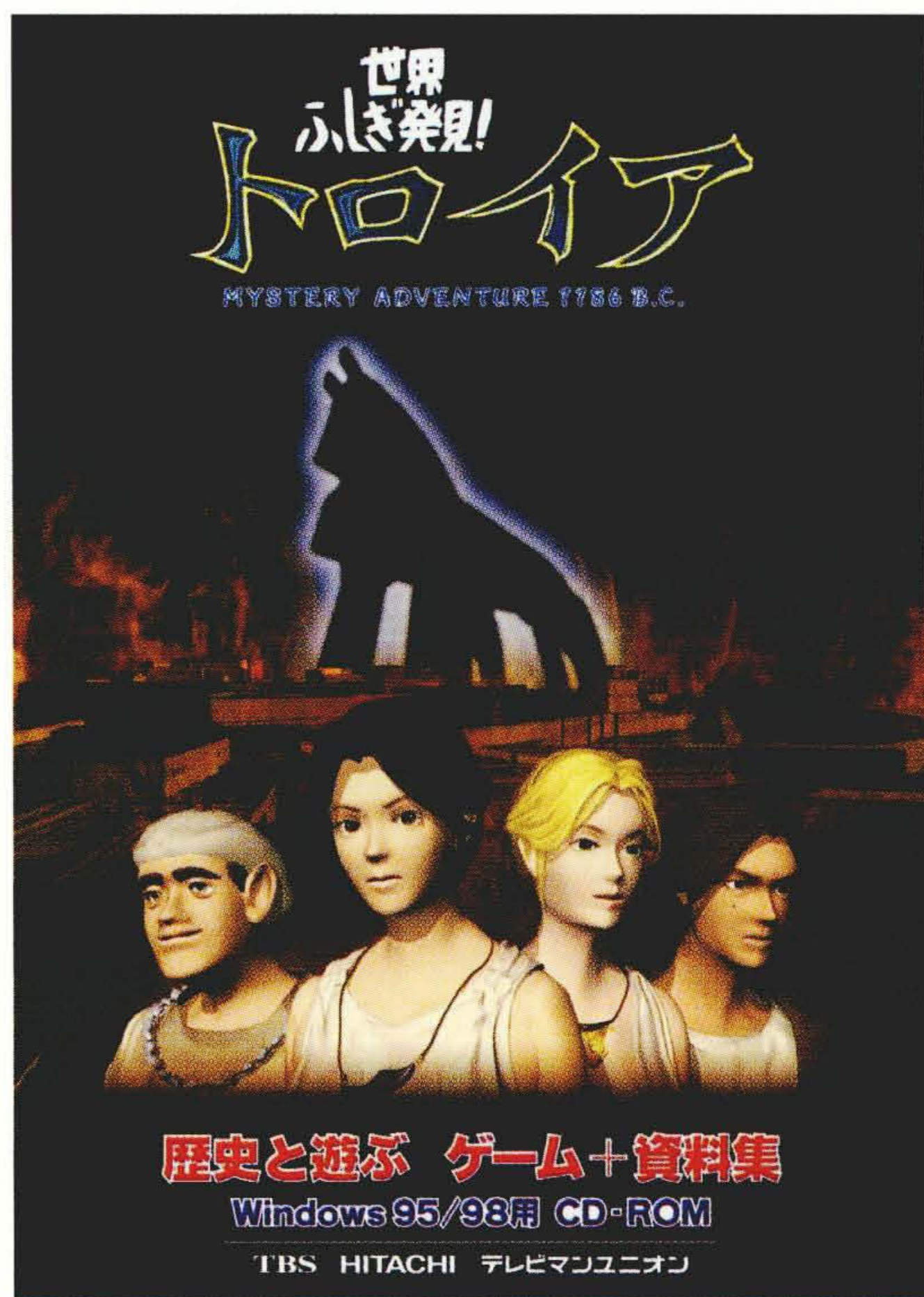
CD-ROM+DVD-ROM「世界大百科事典」(第2版)のプロフェッショナル版(左)とベーシック版(右)

CD-ROM「世界ふしぎ発見！ ートロイア Mystery Adventure 1186 B.C.」

人気テレビ番組「世界ふしぎ発見！」をモチーフに、日立製作所、株式会社東京放送(TBS)、およびテレビマンユニオンの3社共同で制作したCD-ROMソフトウェアの第1弾として、Windows 98/95版「トロイアMystery Adventure 1186 B.C.」を発売した。

今回のテーマは、ホメロスの叙事詩で有名な「トロイの木馬」である。19世紀後半、トロイアはシュリーマンの発掘によって神話の世界から考古学の表舞台へ劇的に姿を現したが、その実像はまだなぞに包まれている。このソフトウェアでは、資料や現地取材を基にした「資料編」とアドベンチャーゲームの「ゲーム編」の2部構成で、このなぞの解明にチャレンジしている。最大の特徴は、日立製作所が開発した三次元CGエンジンを使って歴史をインタラクティブに仮想体験できる「ゲーム編」にある。当時の街の構造の再現には著名な建築家を、シナリオや音楽には映画で実績のある新進の脚本家、音楽家を起用し、あたかも紀元前の壮大な歴史ドラマに巻き込まれているような疑似体験ができる。

(発売時期：1998年11月)



CD-ROM「世界ふしぎ発見！ ートロイア Mystery Adventure 1186 B.C.」